

I'm home.

high end design and lifestyle

隔月刊 アイムホーム 1・3・5・7・9・11月の各16日発売

WEEKEND ESCAPE

自然を満喫するセカンドハウス

www.imhome-style.com



パリのアパートメント

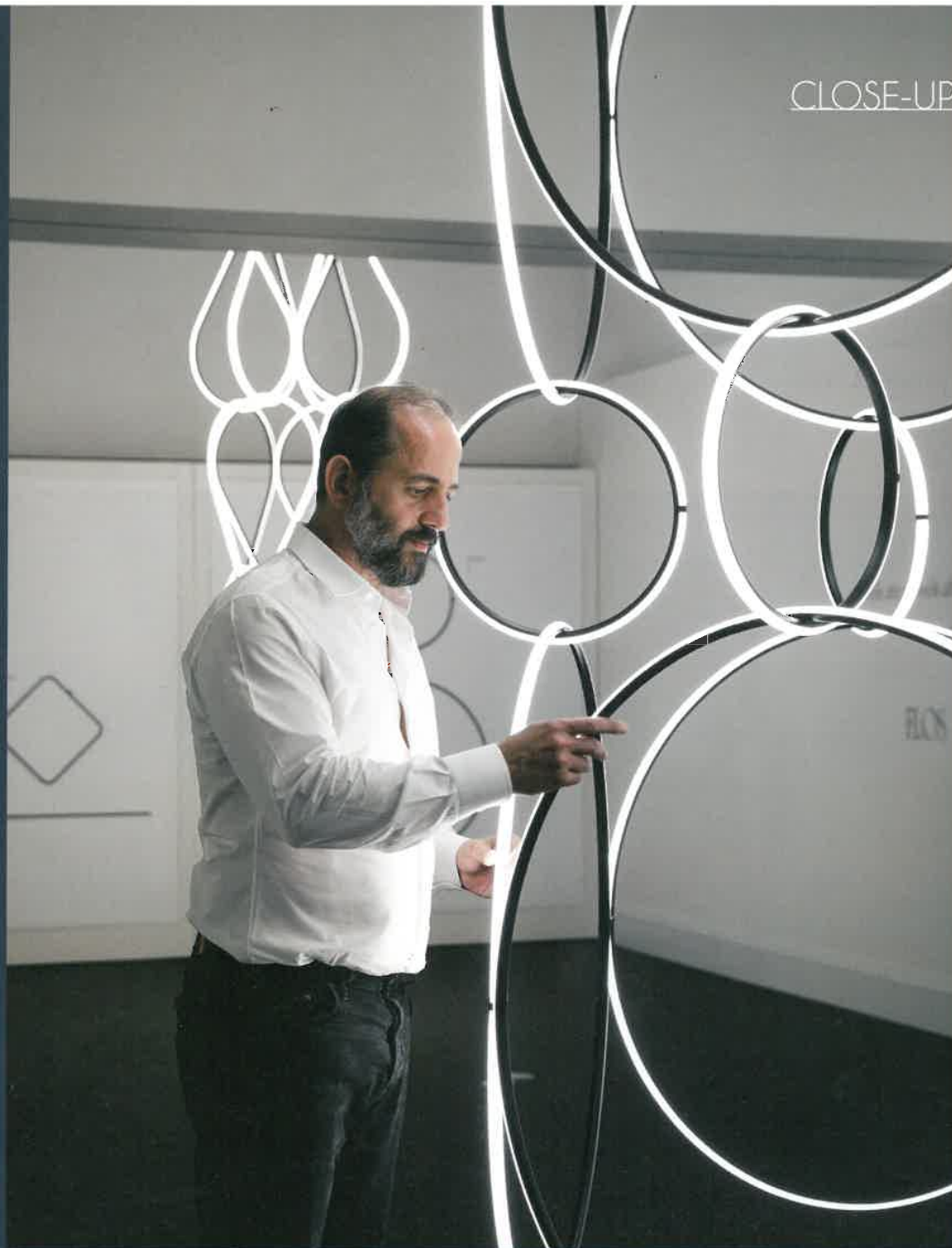
CLOSE-UP DESIGNER
MICHAEL ANASTASSIADES

BEAUTIFUL WINDOWS FOR INTERIOR

美しい住まいには美しい“窓”がある



CLOSE-UP DESIGNER



MICHAEL ANASTASSIADES

Photograph : Nacása & Partners (同頁のみ) Text : Kyoko Furuyama

イタリア・FLOSや同国・Cassina、B&B Italiaなど、名だたるインテリアブランドが今、コラボレーションを熱望するプロダクトデザイナー、Michael Anastassiades (マイケル・アナスタシアデス)。ミニマルでありながらアーティスティックで、多くの人の感性に訴えかける彼のデザインが世界を席巻している。※単位はmm・価格は税抜き



Arrangements
FLOS

大小のサークルやスクエアが連なる、アーティスティックな光のジュエリー……。2018年にイタリアの照明メーカー、FLOSが発表した「Arrangements」(同頁)は、シャープなラインとジオメトリックなフォルムで構成される美しいパーツを自由につなぎ合わせる、これまでに類を見ないシェンデリア。手掛けたのは、今、最も注目されるプロダクトデザイナー、Michael Anastassiades(マイケル・アナスタシアデス)だ。

Anastassiadesは地中海に浮かぶキプロス島に生まれ、イギリスのRoyal College of Artで工業デザインを学んだ後、自身のスタジオを設立。照明器具を中心に、家具や花器などを提案する自身の名を冠したブランドを'07年にスタートさせた。繊細な直線に円形や球体を配する絶妙なバランス、空間に生み出す余白……。ミニマルアートにも通ずる彼のプロダクトは、Studio MumbaiやJohn Pawsonなど、ブランド設立当初から世界の名だたる建築家から支持を得ていた。「自分のブランドをもつことは、デザインのみならず、製作や販売に至るまで100%責任を負うこと。そうした経験と学びは、現在の企業とのコラボレーションでも役立っている」と彼は振り返る。

彼の名をさらに世に知らしめるきっかけとなったのは'11年、国際照明見本市、エウロルーチェへの初出展。イタリア・ミラノを代表するギャラリー、Nilufar Galleryで照明器具「Lit Lines」のインスタレーションを行った。クラシカルな空間と真鍮の本体に細長いLEDランプを添わせたミニマルなデザイン^{しんちゆう}の対比が美しく、それがFLOSのCEO、Piero Gandiniの目に留まったのだ。そして3年の歳月を経て、同社と初のコラボレーションによる照明シリーズ

(40頁に続く)

MICHAEL ANASTASSIADES

マイケル・アナスタシアデス

1967年・キプロス島生まれ。イギリスのImperial College Londonで工学を、Royal College of Artで工業デザインを学んだ後、'94年、同国・ロンドンに自身のスタジオを設立。2007年・自身の名を冠したブランドを立ち上げ、オリジナルの照明器具や家具、花器などを展開するほか、FLOSやB&B Italia、Cassinaなど、世界の名だたる企業とのコラボレーションを行う。

URL: www.michaelanastassiades.com



Beosound Edge
Bang & Olufsen

上 / デンマークのオーディオメーカー、Bang & Olufsenで2017年に発表したワイヤレススピーカー「Beosound Edge」は世界初の開閉式ポートを搭載。床置きも可能で本体を転がせば音量変わる(φ502×H130)462,900円 TFC 左上 / イタリアFLOSの'18年の新作「Arrangements」は、サークルやスクエアなどを自由に組み合わせ可能。特許を取得したコンポーネントをして接続し、電源が供給される仕組みだ。ROUND L(φ102)165,000円 ROUND S(φ398)95,000円 LINE(L170)88,000円※別途、ローセットとドライバが必要 / 日本プロ



IC Lights
FLOS

CLOSE-UP DESIGNER

MICHAEL
ANASTASSIADES



Lit Lines

Michael Anastassiades Studio

右頁/'14年、FLOSから発売された「IC Lights」は、コンタクトジャグリング(水晶玉を操る芸)からインスピレーションを得たデザイン。細長いプラスチック製のバーに付した乳白色のガラス球体が絶妙なバランスで調和し、モダンな空間だけでなくクラシカルでラグジュアリーな空間にも合う。テーブルランプ「T1 low gold」(φ200×H381)92,000円 ペンダントライト「S2 gold」(φ300×H720)98,000円/日本フロス 上/'11年にAnastassiadesは自身が主宰するブランド、Michael Anastassiadesとして、国際照明見本市、エウロルーチェへ初出展。イタリア・ミラノにあるNilufar Galleryで展示した「Lit Lines」は、後にFLOSとコラボレーションするきっかけとなった※日本での取り扱いなし

CLOSE-UP DESIGNER

MICHAEL ANASTASSIADES

「String Lights」(同頁)と「IC Lights」(38頁)が完成。特に、真鍮のバーに乳白色の球体を組み合わせた「IC Lights」は、コンテンポラリーながらエレガントな雰囲気を併せもち、近年の潮流であるクラシックモダンなインテリアに調和。瞬く間に人気が広がっていった。彼のデザインは現在、照明器具のみならず、家具やオーディオ機器、空間デザインまで、活躍の幅を広げている。'18年には、イタリア・B&B Italiaから継ぎ目が見えない特殊な構造のアルミニウム製システム収納「JACK」(42頁)、同国・Cassinaからは、脚部を斜めに配して軽やかさを演出したダイニングテーブル「Ordinal」(41頁)を発表。「使いやすい、美しく、タイムレスであること、そしてイノベーション、そのすべてを満たしてこそ良いデザイン」とAnastassiades。実用性を兼ね備えていることこそ、世界中の企業から大きな評価を受けている理由だろう。

彼のデザインに華美な要素は一切ない。それでも多くの人の心に残るのは、モノにとどまらない価値をもっているため。たとえば新作の「Arrangements」を始め、キャンバスに絵を描くように長いケーブルを配して空間を形づくる「String Lights」も自由に設置方法を考えられる。いわばユーザーとAnastassiadesとの共作によって空間が完成するというもの。人間の行為や行動が紐付けられることでモノ以上の魅力を放ち、それが人々の感性に訴えかける。デザインとアート、モノと人……。その領域を行き来して、唯一無二のプロダクトを生み出すAnastassiades。これからも私たちに新鮮な驚きを与えてくれるだろう。

Overlap
FLOS



String Lights
FLOS





Ordinal
Cassina

Spot Stool
Herman Miller



右頁右 FLOSの「String Lights」は'14年に発表。空間にラインを描くようにケーブルをランダムに張り巡らせるユニークなコンセプトだ。ケーブルに触れると点灯・調光できる。CONE(φ190×H160) 160,000円※コード12mの場合
右頁左 FLOSの「Overlap」, 同社が1960年に開発した新素材「コタン」を用いたペンダントライトで、サークル状のフレームを90度回転させながら重ね、独創的なデザインをつくり出した。
右「S1」(φ655×H830) 左「S2」(φ1000×H1260) 未発売 / 以上日本フロス
上 / イタリア・Cassinaから'18年に発表したダイニングテーブル「Ordinal」。アルミニウムに特殊塗装を施した脚部は斜めに配して、シャープなシルエットを強調した(W2600×D1000×H730)。価格未定 / カッシーナ・イクスシー 青山本店
左 / '17年にアメリカ・Herman Millerで手掛けたスツール「Spot Stool」。円筒形を分解し、スツールとして必要最小限の要素で構成した(φ349×SH457~762) 194,000円〜 / ハーミラージャパン

CLOSE-UP DESIGNER
MICHAEL
ANASTASSIADES



JACK
B&B Italia

Love me, Love me not
SALVATORI



上、イタリア・B&B Italiaからは、'18年にアルミニウム製のシステム収納「JACK」を発表。外側には継ぎ目を一切露出しない特殊な構造を、同社と共に開発した(W7030×D300×H2200) 2,997,000円 B&B Italia Tokyo 右 イタリアの高級石材メーカー、SALVATORIでは、大理石を用いたダイニングテーブル「Love me, Love me not」をデザイン。重厚な素材を軽やかに見せるため、天板は極力薄く脚部は丸みをもたせた(φ1400×H725)価格は要問い合わせ インテリアズ